

【取組み内容】

上天草パールライン釣り大会：釣った魚と拾ったゴミの総重量を

競うおそらく日本初の釣り大会を2022年から毎年10月に開催。

これまでの大会累計で971kgのゴミを回収。

釣り人によるアマモ場再生プロジェクト：釣り人の手によって上

天草市のアマモ場を再生する取り組みを実施。将来的にはブルー

カーボンクレジットとして売却し、次のアマモ場造成等の活動資

金とすることを目指す。



評価項目ごとの取組みの特徴・ポイント

普遍性	釣り大会：場所を選ばず必要最小限の設備で少人数実施可。横展開容易。 アマモ：造成の手法は参考資料が多数公開。一定の支出があるが補助金活用、企業協賛、Jブルークレジット販売収益などの資金確保も可能。
包摂性	大会を通じて釣り人が楽しみながらゴミ拾いが可能で、釣り初心者でも参加できる。アマモを増やすことで海の豊かさを守ることにつながる。
協働性	大会への協賛企業30社超。地元上天草市役所とも連携。熊日釣りタイムとも連携し、情報発信。アマモは天草漁協とも密に連携。
統合性	企業・行政・市民・釣り人とのパートナーシップで企画・運営をしており、海の豊かさを守り、気候変動対策にもつながる取組
透明性	活動結果は、団体のSNS・公式ウェブサイトにて必ず掲載。ゴミの重量を毎回測定。大会累計971kg回収。アマモもCO2吸収量を測定予定。

貢献するSDGsのゴール

